

令和3年度使用教科用図書

答申資料

新たに発行された教科用図書

調査報告資料

【第1採択地区】

社会（歴史的分野）		帝国（株式会社帝国書院）
総 評		<p>○章のはじめに単元を貫く問いが明示され、節ごとに到達目標を示し見直しをもって学習に取り組むことができる。また、各時の学習課題も設定されており、振り返りもステップを分けて構成することで深い学びへとつながるよう工夫されている。特設ページでは深い学びにつながるよう、多面的・多角的に考えられるような問いと資料が用意され、当時の人々がおかれた時代背景や立場などからエンパシーの授業が展開されるように構成されている。</p> <p>○見開き2ページの右下に「確認しよう」と「説明しよう」を設定し、学習した内容の整理と、その時間の学習課題に対する自分の考えを説明するよう促している。</p> <p>○各章のまとめで日本の大きな歴史の流れと、時代の特色を理解することができるように工夫されている。</p> <p>○「歴史を探ろう」では、その当時の人々の歴史資料をまとめ、課題を設定することで、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求・解決しようとする態度を養うことができるように工夫されている。</p> <p>○章末の振り返りでは観点別に復習ができることで知識の定着を図ることが出来る。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<p>○章のはじめに単元を貫く問いが明示され、節ごとに到達目標を示し見直しをもって学習に取り組むことができる。また、各時の学習課題も設定されており、振り返りもステップを分けて構成することで深い学びへとつながるよう工夫されている。特設ページでは深い学びにつながるよう、多面的・多角的に考えられるような問いと資料が用意され、当時の人々がおかれた時代背景や立場などからエンパシーの授業が展開されるように構成されている。③</p> <p>○各章（26か所）に設けられた二次元コードで動画や様々なコンテンツにアクセスでき、学習の理解を助けるよう配慮されている。④</p>
	2 内容の取扱い	<p>○各章のまとめで日本の大きな歴史の流れと、時代の特色を理解することができるように工夫されている。②</p> <p>○見開き2ページの右下に「確認しよう」と「説明しよう」を設定し、学習した内容の整理と、その時間の学習課題に対する自分の考えを説明するよう促している。③</p> <p>○「歴史を探ろう」では、その当時の人々の歴史資料をまとめ、課題を設定することで、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求・解決しようとする態度を養うことができるように工夫されている。⑥</p>
	3 その他（外的要素・構成・配列・資料）	<p>○章末の振り返りでは観点別に復習ができることで知識の定着を図ることが出来る。⑥</p> <p>○各章および「タイムトラベル」に二次元コードがついてあり、タブレットなどを利用して学習を理解するための動画を見ることができる。⑧</p>
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○特になし
	2 内容の取扱い	○特になし
	3 その他（外的要素・構成・配列・資料）	○特になし

社会（歴史的分野）		自由社（株式会社自由社）
総 評		<p>○近世以前の章にも世界の動きに関する節を設けており、世界史を背景に我が国の大きな歴史の流れを理解できるよう工夫されている。</p> <p>○「調べ学習のページ」で、歴史の情報を調べる学習の例が載っており、調べまとめる技能を身に着けるように配慮されている。</p> <p>○生徒の深い学びに資するテーマと資料を提供する特設ページや、章の冒頭に章を貫く問いがなく、主体的・対話的で深い学びを進めるうえで配慮を要する。</p> <p>○「時代の特徴を考えるページ」「対話とまとめ図のページ」では、テーマが多岐にわたっているため、テーマの探求にあたっては指導に工夫が必要であり、歴史にかかわる事象について課題を主体的に追究・解決しようという態度を養うには配慮を要する。</p> <p>○「復習問題のページ」では、一問一答形式の箇所があり、時代の流れの中で学習を振り返るには工夫を要する。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○特になし
	2 内容の取扱い	<p>○近世以前の章にも世界の動きに関する節を設けており、世界史を背景に我が国の大きな歴史の流れを理解できるよう工夫されている。②</p> <p>○「調べ学習のページ」で、歴史の情報を調べる学習の例が載っており、調べまとめる技能を身に着けるように配慮されている。③</p>
	3 その他（外的要素・構成・配列・資料）	○特になし
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○生徒の深い学びに資するテーマと資料を提供する特設ページや、章の冒頭に章を貫く問いがなく、主体的・対話的で深い学びを進めるうえで配慮を要する。③
	2 内容の取扱い	○「時代の特徴を考えるページ」「対話とまとめ図のページ」では、テーマが多岐にわたっているため、テーマの探求にあたっては指導に工夫が必要であり、歴史にかかわる事象について課題を主体的に追究・解決しようという態度を養うには配慮を要する。⑥
	3 その他（外的要素・構成・配列・資料）	○「復習問題のページ」では、一問一答形式の箇所があり、時代の流れの中で学習を振り返るには工夫を要する。⑥

令和3年度使用教科用図書

調査の観点

(中学校用)

【第1採択地区版】

令和2年6月

大阪市立義務教育諸学校教科用図書選定委員会

教科用図書の調査及び研究にあたっての留意事項

1. 調査の基本的態度

- (1) 「大阪市教育振興基本計画」等に示された基本的な目標に基づいて調査及び研究をすること。

めざすべき目標像

全ての子どもたちが学力を身に付けながら健やかに成長し、自立した個人として自己を確立し、他者とともに次代の社会を担うようになることをめざします。

そのために、社会が多様化し激しく変化する中で、国際化の進展や未曾有の災害の発生等に立ち向かう「生き抜く力」を備え、未来を切り拓く心豊かな子どもたちをはぐくむようにします。

基本となる考え方

- ・個人としての尊厳を重んじ、その意見を尊重するとともに、自由と規範意識、権利と義務を重んじ、自己の判断と責任で道を切り拓き、真理と正義を求め、公共の精神を尊び、豊かな人間性と創造性を備え、グローバル化が進む国際社会においても強く「生き抜く力」を備えた子どもたちをはぐくむこと
- ・子どもたちが、我が国と郷土の伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた国と、自らが育ったこの大阪を愛し、大阪にふさわしい新しい文化の創造をめざすようになること

(平成 29 年 3 月改訂「大阪市教育振興基本計画」より)

- (2) 大阪市の教育施策との関連性に基づいて調査及び研究をすること。

2つの最重要目標

- (1) 子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現
- (2) 心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上

2つの「最重要目標」を達成するために重点的に取り組むべき施策

- (1) 全ての基礎となる幼児教育の普及と質の向上
- (2) 安全で安心できる学校、教育環境の実現
- (3) 道徳心・社会性の育成
- (4) 国際社会において生き抜く力の育成
- (5) 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組
- (6) 健康や体力を保持増進する力の育成
- (7) 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援
- (8) 施策を実現するための仕組みの推進

(3) 今日的な教育課題に基づいて調査及び研究をすること。

今日的な教育課題

(1) 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

(2) 論理的思考力・判断力、豊かな表現力等の育成

(3) 道德教育を通じた、豊かな心や創造性の涵養

※これらの観点をふまえつつ、新たな時代を生きる子どもたちの視点に立った配慮・工夫がなされているかについて調査及び研究を行う

2. 調査会を構成する者の資格要件及び責務

(1) 資格要件は、次のとおりとする。

各調査会において、教科用図書の採択に直接利害を有する者は、調査会を構成する者になることができない。教科用図書の採択に利害関係を有する者とは、特定の教科用図書が採択されることにより直接に利益または損害を受ける者であり、例えば次に掲げる者をいう。

ア 教科書発行者の役員及び従業員並びにこれらの配偶者及び三親等内の親族

イ 顧問、参与、嘱託等いかなる名称によるを問わず、事実上教科書発行者の事業の運営に重要な影響力を有している者

ウ 教科書及び教師用指導書の著作・編集者（事実上、著作・編集に参加し、又は協力した者を含む）

エ ウの著作・編集者が団体である場合は、当該団体の役員及びこれに準ずる者

オ 教科書の供給の事業を行う者及びこれに準ずる者

※ 教科書採択に直接の利害関係を有しないまでも、教科書発行者から個別に協力ないしは意見聴取の依頼を受け、著作・編集活動に一定の関与を行うなど、特定の教科書発行者と関係を有する者を、調査員等として選任することは適当ではない。

(2) 責務は、次のとおりとする。

ア 教科用図書の選定に関する事業内容を理解して、適正かつ公正な調査及び研究を行い、調査の経過及び結果を教科用図書選定委員会（地区部会）に報告しなければならない。

イ 職務上知りえた秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。

ウ 調査会を構成する者としての良識と自覚の上に立って、公正確保に留意し、いかなる疑惑をも招くことのないようにしなければならない。

社 会（歴史的分野） 選 定 基 準

項 目	観 点
基本計画等との関連 1 大阪市教育振興	① 子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現に配慮されているか。 ② 心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上に配慮されているか。 ③ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に資するよう配慮されているか。 ④ 生徒の発達段階や特性等を踏まえつつ、論理的思考力・判断力、豊かな表現力等を育成するよう配慮されているか。 ⑤ 道徳教育を通して、豊かな心や創造性の涵養をめざした教育の充実に資するよう配慮されているか。
2 内容の取扱い	① 社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することができるよう配慮されているか。 ② 我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解することができるよう配慮されているか。 ③ 諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けることができるよう配慮されているか。 ④ 歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、多面的・多角的に考察したり、公正に選択・判断したりする力を養うことができるよう配慮されているか。 ⑤ 思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養うことができるよう配慮されているか。 ⑥ 歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うことができるよう配慮されているか。 ⑦ 多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の歴史に対する愛情、国民としての自覚、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を尊重しようとする大切さについての自覚などを深め、国際協調の精神を養うことができるよう配慮されているか。
3 その他（外的要素・構成・配列・資料等）	① 製本が丈夫で、装丁が生徒に親しみやすいなど、生徒の視点に立ったものになっているか。 ② 文字の大きさ・フォント・行間などが適切であるか。 ③ さし絵や写真などが鮮明で、色づかいが配慮されており、大きさや位置などが適切に配置されているか。 ④ ユニバーサルデザインに関して、障がいその他の特性の有無にかかわらず、生徒にとって読みやすいものになっているか。 ⑤ 目標や内容を踏まえて、教科横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう構成・配列されているか。 ⑥ 学習した内容を確実に習得できるよう、学習の内容や過程などを振り返ったり、学んだことを生活に生かしたりすることができるよう配慮されているか。 ⑦ 資料は、学習内容に応じて正確・適切に用意されているか。 ⑧ 資料は、生徒が興味をもち、学習意欲を引き出すようにするなど、生徒の視点に立って工夫されているか。

令和3年度使用教科用図書

答申資料

新たに発行された教科用図書

調査報告資料

【第2採択地区】

社会（歴史的分野）		日文（日本文教出版株式会社）
総 評		<p>○単元ごとにキャラクターの吹き出しによって「問い」を設定し、生徒が課題を主体的にとらえ、意欲的に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>○章末の「アクティビティ」に取り組むことにより、論理的思考力・判断力、豊かな表現力等を育成しながら、時代の特色を捉えることができるよう配慮されている。</p> <p>○「チャレンジ歴史」では、資料をもとに、歴史について自分で考えたことをまとめ、グループでの話し合いや意見交換を通して、生徒が歴史的事象を多面的・多角的に考察できるよう工夫されている。</p> <p>○『歴史との対話』を未来に活かす』では、先人たちの取り組みを学び、SDGsの実現に向けて、考察できるように学習の展開が工夫されている。</p> <p>○章末に「学習の整理と活用」が設けられ、年表や地図を活用しながら学習内容を振り返ることができるよう配慮されており、巻末の「テーマ別さくいん」を活用することで、これまで学んできたできごとを効率よく振り返ることができるよう工夫されている。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<p>○単元ごとにキャラクターの吹き出しによって「問い」を設定し、生徒が課題を主体的にとらえ、意欲的に取り組めるよう工夫されている。②</p> <p>○章末の「アクティビティ」に取り組むことにより、論理的思考力・判断力、豊かな表現力等を育成しながら、時代の特色を捉えることができるよう配慮されている。④</p>
	2 内容の取扱い	<p>○「チャレンジ歴史」では、資料をもとに、歴史について自分で考えたことをまとめ、グループでの話し合いや意見交換を通して、生徒が歴史的事象を多面的・多角的に考察できるよう工夫されている。④</p> <p>○『歴史との対話』を未来に活かす』では、先人たちの取り組みを学び、SDGsの実現に向けて、考察できるように学習の展開が工夫されている。⑥</p>
	3 その他（外的要素・構成・配列・資料）	<p>○章末に「学習の整理と活用」が設けられ、年表や地図を活用しながら学習内容を振り返ることができるよう配慮されており、巻末の「テーマ別さくいん」を活用することで、これまで学んできたできごとを効率よく振り返ることができるよう工夫されている。⑥</p>
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<p>○教科書全体を通して歴史的事象を多面的・多角的に考察し、文章にまとめる活動の課題が多いのに対して、話し合い活動の課題が少ないため、工夫を要する。③</p>
	2 内容の取扱い	<p>○「元寇」に関する資料として「ほうびの馬をもらう竹崎季長」が番号付きの資料として取り上げられているが、本文中には説明がない。本文に必要な資料を取り上げるよう、配慮を要する。③</p>
	3 その他（外的要素・構成・配列・資料）	<p>○取り上げられている写真や絵画資料などの番号が、本文中のどの部分に示されているかを分かりやすく示すよう配慮を要する。⑧</p>

新たに発行された教科用図書 調査報告資料（第2採択地区）

社会（歴史的分野）		自由社（株式会社自由社）
総 評		<p>○単元ごとに「チャレンジ」として、知識の整理ができるような課題が設定されており、論理的思考や表現力を育成できるよう配慮されている。</p> <p>○「調べ学習のページ」や「時代の特徴を考えるページ」が配置され、さまざまなテーマを設定し、生徒が自ら探求し解決しようとする態度が養われ、学んだことを深められるよう配慮されている。</p> <p>○「復習問題のページ」で基礎的な用語、知識の定着を図る問題を配置し、「対話とまとめの図のページ」で時代の特徴を大観するなど、各時代の学習内容を振り返ることができるよう工夫されている。</p> <p>○単元によっては資料が乏しいところがあり、生徒が学びを深めるためには配慮を要する。</p> <p>○本文中の表現に生徒の発達段階において理解が困難な表現があり配慮を要する。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<p>○単元ごとに「チャレンジ」として、知識の整理ができるような課題が設定されており、論理的思考や表現力を育成できるよう配慮されている。④</p>
	2 内容の取扱い	<p>○「調べ学習のページ」や「時代の特徴を考えるページ」が配置され、さまざまなテーマを設定し、生徒が自ら探求し解決しようとする態度が養われ、学んだことを深められるよう配慮されている。⑥</p> <p>○神話の時代の内容が豊富で、日本の思想の根底に触れることができ、我が国の歴史に対する愛情、国民としての自覚などを深めることができるよう配慮されている。⑦</p>
	3 その他（外的要素・構成・配列・資料）	<p>○「復習問題のページ」で基礎的な用語、知識の定着を図る問題を配置し、「対話とまとめの図のページ」で時代の特徴を大観するなど、各時代の学習内容を振り返ることができるよう工夫されている。⑥</p> <p>○「歴史の言葉」という資料が配置され、生徒が興味をもって学習に取り組めるよう配慮されている。⑧</p>
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<p>○単元によっては資料が乏しいところがあり、生徒が学びを深めるためには配慮を要する。②</p>
	2 内容の取扱い	<p>○本文中の表現に生徒の発達段階において理解が困難な表現があり配慮を要する。④</p>
	3 その他（外的要素・構成・配列・資料）	<p>○各単元に学習課題が明記されているが、文字が小さく意識づけが弱い。また、途中から学習課題の文字のフォントが変わっていたりするなど配慮を要する。②</p> <p>○図解、地図資料が簡素でかつ見づらくなっており配慮を要する。⑧</p>

令和3年度使用教科用図書

調査の観点

(中学校用)

【第2採択地区版】

令和2年6月

大阪市立義務教育諸学校教科用図書選定委員会

教科用図書の調査及び研究にあたっての留意事項

1. 調査の基本的態度

- (1) 「大阪市教育振興基本計画」等に示された基本的な目標に基づいて調査及び研究をすること。

めざすべき目標像

全ての子どもたちが学力を身に付けながら健やかに成長し、自立した個人として自己を確立し、他者とともに次代の社会を担うようになることをめざします。

そのために、社会が多様化し激しく変化する中で、国際化の進展や未曾有の災害の発生等に立ち向かう「生き抜く力」を備え、未来を切り拓く心豊かな子どもたちをはぐくむようにします。

基本となる考え方

- ・個人としての尊厳を重んじ、その意見を尊重するとともに、自由と規範意識、権利と義務を重んじ、自己の判断と責任で道を切り拓き、真理と正義を求め、公共の精神を尊び、豊かな人間性と創造性を備え、グローバル化が進む国際社会においても強く「生き抜く力」を備えた子どもたちをはぐくむこと
- ・子どもたちが、我が国と郷土の伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた国と、自らが育ったこの大阪を愛し、大阪にふさわしい新しい文化の創造をめざすようになること

(平成 29 年 3 月改訂「大阪市教育振興基本計画」より)

- (2) 大阪市の教育施策との関連性に基づいて調査及び研究をすること。

2つの最重要目標

- (1) 子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現
- (2) 心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上

2つの「最重要目標」を達成するために重点的に取り組むべき施策

- (1) 全ての基礎となる幼児教育の普及と質の向上
- (2) 安全で安心できる学校、教育環境の実現
- (3) 道徳心・社会性の育成
- (4) 国際社会において生き抜く力の育成
- (5) 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組
- (6) 健康や体力を保持増進する力の育成
- (7) 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援
- (8) 施策を実現するための仕組みの推進

(3) 今日的な教育課題に基づいて調査及び研究をすること。

今日的な教育課題

(1) 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

(2) 論理的思考力・判断力、豊かな表現力等の育成

(3) 道德教育を通じた、豊かな心や創造性の涵養

※これらの観点をふまえつつ、新たな時代を生きる子どもたちの視点に立った配慮・工夫がなされているかについて調査及び研究を行う

2. 調査会を構成する者の資格要件及び責務

(1) 資格要件は、次のとおりとする。

各調査会において、教科用図書の採択に直接利害を有する者は、調査会を構成する者になることができない。教科用図書の採択に利害関係を有する者とは、特定の教科用図書が採択されることにより直接に利益または損害を受ける者であり、例えば次に掲げる者をいう。

ア 教科書発行者の役員及び従業員並びにこれらの配偶者及び三親等内の親族

イ 顧問、参与、嘱託等いかなる名称によるを問わず、事実上教科書発行者の事業の運営に重要な影響力を有している者

ウ 教科書及び教師用指導書の著作・編集者（事実上、著作・編集に参加し、又は協力した者を含む）

エ ウの著作・編集者が団体である場合は、当該団体の役員及びこれに準ずる者

オ 教科書の供給の事業を行う者及びこれに準ずる者

※ 教科書採択に直接の利害関係を有しないまでも、教科書発行者から個別に協力ないしは意見聴取の依頼を受け、著作・編集活動に一定の関与を行うなど、特定の教科書発行者と関係を有する者を、調査員等として選任することは適当ではない。

(2) 責務は、次のとおりとする。

ア 教科用図書の選定に関する事業内容を理解して、適正かつ公正な調査及び研究を行い、調査の経過及び結果を教科用図書選定委員会（地区部会）に報告しなければならない。

イ 職務上知りえた秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。

ウ 調査会を構成する者としての良識と自覚の上に立って、公正確保に留意し、いかなる疑惑をも招くことのないようにしなければならない。

社 会（歴史的分野） 選 定 基 準

項 目	観 点
基本計画等との関連 1 大阪市教育振興	① 子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現に配慮されているか。 ② 心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上に配慮されているか。 ③ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に資するよう配慮されているか。 ④ 生徒の発達段階や特性等を踏まえつつ、論理的思考力・判断力、豊かな表現力等を育成するよう配慮されているか。 ⑤ 道徳教育を通して、豊かな心や創造性の涵養をめざした教育の充実に資するよう配慮されているか。
2 内容の取扱い	① 社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することができるよう配慮されているか。 ② 我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解することができるよう配慮されているか。 ③ 諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けることができるよう配慮されているか。 ④ 歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、多面的・多角的に考察したり、公正に選択・判断したりする力を養うことができるよう配慮されているか。 ⑤ 思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養うことができるよう配慮されているか。 ⑥ 歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うことができるよう配慮されているか。 ⑦ 多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の歴史に対する愛情、国民としての自覚、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を尊重しようとする大切さについての自覚などを深め、国際協調の精神を養うことができるよう配慮されているか。
3 その他（外的要素・構成・配列・資料等）	① 製本が丈夫で、装丁が生徒に親しみやすいなど、生徒の視点に立ったものになっているか。 ② 文字の大きさ・フォント・行間などが適切であるか。 ③ さし絵や写真などが鮮明で、色づかいが配慮されており、大きさや位置などが適切に配置されているか。 ④ ユニバーサルデザインに関して、障がいその他の特性の有無にかかわらず、生徒にとって読みやすいものになっているか。 ⑤ 目標や内容を踏まえて、教科横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう構成・配列されているか。 ⑥ 学習した内容を確実に習得できるよう、学習の内容や過程などを振り返ったり、学んだことを生活に生かしたりすることができるよう配慮されているか。 ⑦ 資料は、学習内容に応じて正確・適切に用意されているか。 ⑧ 資料は、生徒が興味をもち、学習意欲を引き出すようにするなど、生徒の視点に立って工夫されているか。

令和3年度使用教科用図書

答申資料

新たに発行された教科用図書

調査報告資料

【第3採択地区】

社会（歴史的分野）		東書（東京書籍株式会社）
総 評		<p>○巻末の「歴史のまとめ」では、振り返りによって持続可能な社会について構想することを通じて、よりよい社会の形成に主体的に参画する態度につながるように工夫しており、さらに裏表紙の保護者へのメッセージが教科の目的を明確にしている。</p> <p>○章の初めに探究課題が示され、章末の振り返りで探究をステップに分けて行えるよう工夫されており、「まとめの活動」では様々なまとめ方を用いて学習を深める方法が学べるように配慮されている。</p> <p>○「みんなでチャレンジ」や「見方・考え方」等で、本文での学習内容を確実に理解し、対話的な活動を通じて学習を深められるように配慮されている。また、「チェック」や「トライ」「スキルアップ」「読み取る」等の欄が設定され、学習した内容を確認し、歴史の見方・考え方を働かせて説明できるよう工夫されている。</p> <p>○「歴史にアクセス」のコラムを設定し、人権・平和・伝統・文化・防災・安全等をテーマに考えさせるよう工夫されている。</p> <p>○「チェック」の「～からぬき出しましょう」という課題は、すべての生徒が取り組みやすいよう配慮されているが、他のコラムと課題設定が重複していることがあるため工夫が必要である。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<p>○巻末の「歴史のまとめ」では、振り返りによって持続可能な社会について構想することを通じて、よりよい社会の形成に主体的に参画する態度につながるように工夫しており、さらに裏表紙の保護者へのメッセージが教科の目的を明確にしている。①</p> <p>○章の初めに探究課題が示され、章末の振り返りで探究をステップに分けて行えるよう工夫されており、「まとめの活動」では様々なまとめ方を用いて学習を深める方法が学べるように配慮されている。②</p> <p>○「みんなでチャレンジ」や「見方・考え方」等で、本文での学習内容を確実に理解し、対話的な活動を通じて学習を深められるように配慮されている。また、「チェック」や「トライ」「スキルアップ」「読み取る」等の欄が設定され、学習した内容を確認し、歴史の見方・考え方を働かせて説明できるよう工夫されている。③</p> <p>○「歴史にアクセス」のコラムを設定し、人権・平和・伝統・文化・防災・安全等をテーマに考えさせるよう工夫されている⑤</p>
	2 内容の取扱い	<p>○資料が豊富に掲載されており、鮮明で読み取りやすい。①</p> <p>○資料の使用方法等が詳細に説明されており、生徒が主体的に調べることができるように配慮されている。③</p> <p>○章ごとに探究課題を設け、「探究のステップ」を踏まえることで段階的に課題について考えることができる。⑥</p>
	3 その他（外的要素・構成・配列・資料）	<p>○人名へのふりがなが多く記載されている。④</p> <p>○見開き左下の「年表スケール」で、どの時代を学習しているかが矢印で示されており、生徒にとって可視化されてわかりやすい。⑥</p>
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<p>○「チェック」の「～からぬき出しましょう」という課題は、すべての生徒が取り組みやすいよう配慮されているが、他のコラムと課題設定が重複していることがあるため工夫が必要である。④</p>
	2 内容の取扱い	○特になし。
	3 その他（外的要素・構成・配列・資料）	○特になし。

新たに発行された教科用図書 調査報告資料（第3採択地区）

社会（歴史的分野）		自由社（株式会社自由社）
総 評		<ul style="list-style-type: none"> ○ 渋沢栄一などの人物や水泳ニッポン(東京五輪)などを紹介し、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養えるように配慮されている。 ○ コラム欄「人物クローズアップ」「もっと知りたい」などが、道德の内容項目につながるように工夫されている。 ○ SDGsや環境についての記述が少ないため、現代における国際的な課題についてまとめ切れていない。 ○ 教科書の使い方の説明ページが少ないことや、QRコードやインターネットへのリンク紹介がないので主体的な学びを深めるきっかけとなる工夫が必要である。 ○ 章や節の目標が記載されておらず、章の始まりのページに問いが一つ掲載されているだけで、単元のまとまりを意識したつくりとなっていない。
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<ul style="list-style-type: none"> ○ 渋沢栄一などの人物や水泳ニッポン(東京五輪)などを紹介し、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養えるように配慮されている。② ○ コラム欄「人物クローズアップ」「もっと知りたい」などが、道德の内容項目につながるように工夫されている。⑤
	2 内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ○ 章の始まり部分に、学習する内容が既習の人物とともに時系列でまとめられており、概観をもって授業に臨むことができる。② ○ 見開き左下の「歴史モノサシ」が、どの時代を学習しているか可視化されており、わかりやすい。② ○ 太平洋戦争(大東亜戦争)、戦後改革に関する時系列の記述がわかりやすい④
	3 その他（外的要素・構成・配列・資料）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元を通し番号が振られ、ノート等を作成する際に有効である。⑥ ○ 各章末のまとめには復習問題と対話形式のまとめ図・年表形式のまとめ図があり、時代の大観が把握できるように工夫されている。⑥
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<ul style="list-style-type: none"> ○ SDGsや環境についての記述が少なく、現代における国際的な課題についてまとめ切れていない。① ○ 教科書の使い方の説明ページが少ないことや、QRコードやインターネットへのリンク紹介がないので主体的な学びを深めるきっかけとなる工夫が必要である。③ ○ 章や節の目標が記載されておらず、章の始まりのページに問いが一つ掲載されているだけで、単元のまとまりを意識したつくりとなっていない。④
	2 内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ○ 主体的に学びを深めるための工夫が少なく、様々な情報を効果的に学べる配慮がなされていない。③ ○ 調べ学習のページに、「わかったこと」が羅列してあるだけで、何をどのように調べたらよいかわかりにくい。また、構成に流れがなく、順序立てて理解できる工夫が必要である。⑤ ○ 重要語句の解説が12語句と少ない。そのため、主体的に追究、解決しようとする配慮がなされていない。⑥
	3 その他（外的要素・構成・配列・資料）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 他社と比較すると、ページ数はほぼ変わらないが、厚みがある。① ○ ぼやけた資料や、コントラストの違った資料等不鮮明な資料が多い。③ ○ 地図の境界線が不明瞭等、色覚に特性のある生徒への配慮が欠けている。④

令和3年度使用教科用図書

調査の観点

(中学校用)

【第3採択地区版】

令和2年6月

大阪市立義務教育諸学校教科用図書選定委員会

教科用図書の調査及び研究にあたっての留意事項

1. 調査の基本的態度

- (1) 「大阪市教育振興基本計画」等に示された基本的な目標に基づいて調査及び研究をすること。

めざすべき目標像

全ての子どもたちが学力を身に付けながら健やかに成長し、自立した個人として自己を確立し、他者とともに次代の社会を担うようになることをめざします。

そのために、社会が多様化し激しく変化する中で、国際化の進展や未曾有の災害の発生等に立ち向かう「生き抜く力」を備え、未来を切り拓く心豊かな子どもたちをはぐくむようにします。

基本となる考え方

- ・個人としての尊厳を重んじ、その意見を尊重するとともに、自由と規範意識、権利と義務を重んじ、自己の判断と責任で道を切り拓き、真理と正義を求め、公共の精神を尊び、豊かな人間性と創造性を備え、グローバル化が進む国際社会においても強く「生き抜く力」を備えた子どもたちをはぐくむこと
- ・子どもたちが、我が国と郷土の伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた国と、自らが育ったこの大阪を愛し、大阪にふさわしい新しい文化の創造をめざすようになること

(平成 29 年 3 月改訂「大阪市教育振興基本計画」より)

- (2) 大阪市の教育施策との関連性に基づいて調査及び研究をすること。

2つの最重要目標

- (1) 子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現
- (2) 心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上

2つの「最重要目標」を達成するために重点的に取り組むべき施策

- (1) 全ての基礎となる幼児教育の普及と質の向上
- (2) 安全で安心できる学校、教育環境の実現
- (3) 道徳心・社会性の育成
- (4) 国際社会において生き抜く力の育成
- (5) 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組
- (6) 健康や体力を保持増進する力の育成
- (7) 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援
- (8) 施策を実現するための仕組みの推進